

住宅密集地を流下する「大路川」の河川整備状況

令和4年8月
鳥取県河川課

大路川は、鳥取市内の住宅密集地を流下しており、昭和54年台風20号による大路川の水位上昇により、支川の清水川及び山白川等の排水ができなくなり甚大な被害が発生した。市街化の著しい大路川沿川の治水安全度の早期向上のため、排水機場整備を集中的に実施し、早期に地域の治水安全度の向上を図る。



昭和54年台風20号の状況 (鳥取市吉成地区)

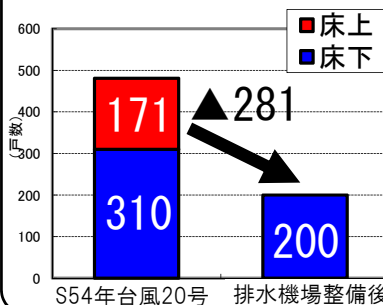


令和3年7月梅雨前線豪雨

市街地を流下する清水川の水位が上昇し、排水機場において大路川へ排水したもののそれを上回る降雨により吉成南地区周辺では浸水被害が発生した。その後、清水川排水機場の排水強化対策工事が完成し、また令和4年度には西大路排水機場の同対策が完了する予定であることから、浸水被害軽減への効果が期待される。



整備効果(排水機場整備)



大路川左岸側の排水機場整備と増強により目標とする昭和54年台風20号に対して、約300戸の浸水戸数の解消が図られる。

